

東員議会だより



勝利をめざして

実質収支5億円の黒字

2P

・ 補正予算	6P
・ 条例改正	8P
・ 知りたい聞きたい一般質問（11人）	9P
・ 委員会活動レポート	15P
・ 傍聴者の声	18P

109号

平成23年10月1日発行

9月定例会

発行 三重県東員町議会

し 財政運用

9月定例議会

平成22年度の一般会計決算は、歳入79億1,052万円、歳出73億9,134万円で、実質収支額5億1,918万円の黒字となりました。

～主に使われた事業～

・第3分団消防ポンプ自動車購入	1,879万円
・防災倉庫建設工事	2,959万円
・バス待合所等整備工事	955万円
・廃食油再生施設建設工事	834万円
・最終処分場地下水調査	661万円
・学童保育施設整備工事(神田・笹尾西)	2,948万円
・旧第一保育園園舎解体工事	1,212万円
・総合体育館改修工事	1,291万円
・ふるさとづくり事業補助金	3,110万円
・東員第一中学校駐輪場設置工事	850万円

9月定例会は、1日から20日までの会期で開かれました。平成22年度決算認定、平成23年度一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算、条例改正、教育委員の任命のほか、請願、意見書など、認定7件と議案7件、請願4件、発議4件が提出されました。全会一致、一部賛成多数で、原案どおり認定・可決しました。

主な質疑

問 選挙投票所を10力所から6力所に減らしたが、コスト的な効果と投票率の向上はあったのですか。

答 投票所に係る人件費として775千円のコストダウンはありましたが、投票率の大きな変化はありません。

問 職員時間外手当の約3400万円は、労働基準法においても問題はありませんか。

答 適切な人事管理をしており問題はありません。

問 防犯灯設置および電気代などの自治会負担分を伺います。

答 電気代と1灯当たりの新設負担金5000円です。

問 国有資産の場所は、三重県警察官舎、四日市水道用地です。

問 町税を含めて滞納が多くあります。徴収のための委員会などの開催回数と委員会の開催効果が出ているのか伺います。

答 委員会は年2回開催しています。悪質な滞納者については差し押さえ処分などを行うことにより、前年より徴収率は向上しています。

問 し尿処理負担金約2400万円は、多額すぎませんか。

答 164戸分の約693キロリットルの搬入量割での負担金です。



むたのな

問 最終処分場水質調査はいつまで行うのですか。
答 処分場を利用している限り調査は必要です。

問 救急医療情報システム費で救急医療情報センターが医療機関を紹介する請求金額の内訳はどうですか。
答 医療ネットみえで各消防本部が代行し、人件費と人口割で一人当たりの42円を請求するものです。

問 母子保健事業の母子教室で配布される絵本の費用は、どこに計上していますか。
答 1人につき2冊の絵本と小冊子1冊分の費用を健康推進費の需用費で計上しています。

問 元気サロンの実態調査の内容を伺います。
答 全体で980万円の補助があり、飲食費が多く含まれています。本来の趣旨からも精査する必要があります。

問 パークゴルフの利用者の減った理由を伺います。
答 コース改修工事と暑さによるものが大きな理由ですが、ジュニアコースでは増加となり、全体では変化はありません。

問 パークゴルフの利用者の減った理由を伺います。
答 コース改修工事と暑さによるものが大きな理由ですが、ジュニアコースでは増加となり、全体では変化はありません。

反対討論（大崎議員）
 指定管理者制度について反対するとともに、運用の途中で減免制度廃止となったことなどで反対します。

賛成討論（門脇議員）
 各般の施策を実現するための歳入予算の確保と歳出予算の計画的・効率的な執行に努力が払われた。一部の事業繰越などがあるものの適正に執行されていますので賛成します。



元気に健康づくり

平成22年度特別会計・企業会計決算の状況は

国民健康保険	3,362世帯の6,062人が加入しています。収支差引1億4,539万円の黒字であり、また、単年度収支では1,743万円の黒字となっています。	介護保険	介護認定者は693人で、居宅介護、地域密着型介護、施設介護のサービスを利用しました。地域包括支援センターでの介護予防ケアマネジメントなど、様々な地域支援事業が行われました。
老人保健	32万円の精算事務を行い、平成22年度末で本会計は終了となりました。	下水道事業	収入は前年度に比べ、2.2%増の7億7,411万円、支出は前年度と比較して0.1%増の7億4,211万円で3,199万円の黒字となりました。
後期高齢者医療	平成20年4月から始まったこの制度を廃止し、平成25年度から新たな制度に移行しようとしています。加入者は2,205人で収納率が99%と前年度より0.9%好転しました。	水道事業	給水人口は、前年度より25人減の25,712人でした。1日平均の給水量は、8,755㎡でした。筑紫・北大社地内配水管布設替工事を実施しました。当年度純利益は2,945万円余りの黒字でした。

国民健康保険

問 一般被保険者と退職被保険者の数はそれぞれ何人ですか。

答 一般被保険者数が5314人で、退職被保険者数は748人です。

問 介護納付金の1人当たりの金額はいくらですか。

答 40歳から64歳の方で年間4万6700円です。

介護保険

問 滞納10・5%の内訳を伺います。

答 8段階で徴収しています。(所得区分による段階です)

問 特別徴収と普通徴収の割合はどうですか。

答 特別徴収が92%で、

問 普通徴収は8%です。

問 東員町のキャラバンメイト連絡協議会について伺います。

答 認知症に対し支援する「認知症サポーター」を養成する資格を取った方々の協議会です。

後期高齢者医療

問 徴収状況はどうですか。

答 収納率が99%と好転しています。

反対討論 (大崎議員)

後期高齢者制度に反対するとともに、所得が少なくても均等割は支払わなければならない。また、短期証を発行することについても反対します。

反対討論 (大崎議員)

支払える介護保険料にすべきです。また、利用料の減免制度の確立を求め、反対します。

一般会計決算 町財政の健全度は？

※（ ）内は、類似団体数値です。

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
財政力指数 (大きいほど財政力が高い)	0.790 (—)	0.817 (0.71)	0.813 (0.72)
経常収支比率 (大きいほど財政が硬直化し、自由に使える財源が少ない)	80.9% (—)	81.1% (88.9%)	79.1% (89.4%)
実質公債費比率 (大きいほど借金返済額が財政を圧迫している)	6.3% (—)	7.1% (11.7%)	7.2% (12.0%)

監査委員の指摘

- * 一般会計決算額は、前年度と比較して、歳入で1.4%、歳出で2.6%増の決算規模となった。実質収支額は5億146万4,000円の黒字、単年度収支は4,975万3,000円の赤字、実質単年度収支も552万円の赤字となっている。
- * 特別会計決算額は、前年度と比較して、歳入4.8%、歳出で4.3%増の決算規模となり、歳入101.2%、歳出95.9%の執行率となりました。
- * 本町の財政運営を財務指標で見ると、財政力指数は0.790で前年度より0.027ポイント下降しており、経常収支比率は80.9%で前年度より0.2%減少した。さらに実質公債費比率については6.3%となっている。
- * 不用額については、原因を分析し、財政運営の効率化の観点から減額補正を行い、翌年度予算編成に反映させ、より財務効率の向上を図るよう要望する。
- * 本町が実績に応じた自主的な財政運営が行えるよう、既設事業や継続事業の見直しなど国の政策とその動向を注視し、自主財源の確保と、限られた財源で最大の効果が得られるよう、経営感覚を意識し、一層の財政健全化への取り組みを行い、安定かつ持続可能な財政運営に努められたい。

(監査の意見書から抜粋)

補正予算の主なものは

- ・コミュニティ助成事業（多目的施設築造） 320万円
- ・学童保育施設AED購入 230万円
- ・子ども生活習慣支援事業（着ぐるみ作成） 150万円
- ・防災情報・家屋情報GIS化事業 566万円
- ・東員第一中学校体育館軒天修繕及び防球ネットかさ上げ工事 273万円



一般会計 補正予算

コミュニティ助成事業、学童保育施設用AEDの購入、東員第一中学校体育館の改修工事などの補正予算5212万2000円を全会一致で賛成し、予算総額は72億6057万円となりました。

質疑

問 子どもの生活習慣づくりの事業でキャラクターを作成されますが、どのようなものですか。

答 着ぐるみを3体作りたい。子どもの生活リズム向上に役立てます。

ですか。

答 統合型GISシステムと共同するもので、町内65歳以上の方を対象として、地図情報を作るものです。

問 北大社の多目的施設築造工事の助成出資内容を伺います。

答 宝くじの助成事業の配当金で行うものであり、県の採択による補助事業です。

問 65歳以上の高齢者および障害者を対象とした、要援護者の台帳およびマップ作成システムとはなん





三貫納の幸氏

教育委員に

住所 東員町城山1丁目16番13
新しく教育委員に選任することに同意しました。

各議員の賛否

平成23年9月定例会

議案、認定、発議の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案は全会一致で賛成しました。

Table with columns for '審議結果' (Review Result) and '議員名' (Member Name), listing various proposals and the voting status of 14 members (Uehara, Niino, Kawasaki, Mizutani, Nakamura, Niikawa, Kimura, Fujiwara, Yamaguchi, Minami, Iizumi, Yamamoto, Ohashi, Kudo).

議長(一)は採決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席

国へ意見書を提出しました

- ◆「義務教育費国庫負担制度の存続と全額負担」を求める国への意見書
◆「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求める国への意見書
◆「保護者負担の軽減と就学・修学支援の関わる制度の拡充」を求める国への意見書
◆ 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める国への意見書

上記請願が、員弁郡いなべ市PTA連合会、員弁郡いなべ市校長会、三重県教職員組合員弁支部から提出され、採択し、意見書として提出しました。

条例改正

町長・副町長及び固定資産評価員の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定

固定資産を適正に評価するため、固定資産評価員を設置するか、評価員を設置せずに市町村において行うことと定められています。本町は町において固定資産の評価を行っている。実際の運用に即して条例の整理を行うもので、給料および期末手当に関する規定において、固定資産評価員に係る規定を削除するものです。

東員町町税条例等の一部を改正する条例の制定

現下の厳しい経済状況および雇用情勢に対応して税制の整備を図るため、地方税法などの一部が改正されたことおよび入湯税に係る条例を制定するため、町条例の一部を改正するものです。

改正の主な内容は、地方税法の改正関連として、罰則規定が見直されたことによる所要の罰則の見直し、入湯税関連として町内施設において温泉法に基づく温泉利用の許可がなされたことに伴い、入湯税に係る規定を追加するものです。

質疑

問 入湯税を課せる場所はどこですか。

答 長深ゴルフ練習場の足湯と男女浴場です。

問 不申告があった場合の処罰はありましたか。

答 現在まではありません。

反対討論(大崎議員)

お金持ちや資産家優遇措置で反対します。

賛成討論(門脇議員)

厳しい経済状況および雇用情勢に対応するためには、税負担の軽減を行うなどの税制の整備を図る必要があります。

東員町中部公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

中部公園内のパークゴルフ場施設の適正な運営及び管理を目的に改正するものです。中学生以下の使用については無料であったものを、公認コースについては有料とし、「ジュニアコース」は引き続き、子どもから大人まで無料で利用できます。主な点は次のとおりです。

- ・中学生以下の使用料を公認コースは無料から有料に改正する。
- ・大人の使用料に1日券の割引と1日券の回数券を新設する。
- ・公認コース1回は27ホールとしていたものを36ホールを1回と改正するなどです。

知りたい

聞きたい

一般質問

11人が質問しました

原稿は本人が作成したものを、原文のまま掲載しています。

過去2年分の一般質問全文は、東員町議会ホームページでご覧いただけます。

企業団地ハイブリッドパーク（仮称）が平成19年に着工してから5年を経過した現在、県からは正勧告を受けるなどの不正行為が発生し、変更工期があった8月31日の工期を終えた今でも全然進捗が見受けられない原因と今後の対応を伺います。

町長 3月の一般質問では、工事完了予定を8月末日とする開発行為変更届出書が提出されましたと答弁しましたが、「土砂搬出工事及び搬出先の変更により、大幅な遅れが生じている」ことを理由に、8月22日に再度予定日を平成24年8月31日とする変更届出書が提出されました。

経済状況の悪化により企業誘致も非常に厳しくなっていますが、一日も



藤田興一

企業団地の完成は

平成24年8月31日です

早い工事完了と企業の決定を願っています。

北勢線の掘出金廃止報道は

北勢線については平成25年度以降運営資金を拠出しないという報道は北勢線対策推進協議会などで決定したことです。

町長 この記事については、前もっての取材も

なく、寝耳に水で、すぐに伊勢新聞社に真意を問いましたが、明確な回答はいただけませんでした。今後は、北勢線対策推進協議会幹事会で事業・業務内容を精査し、今後の方針を決定していきたいと考えています。



早期完成を



上原君代 土曜日の保育は 平成24年度に実施の方向です

いなべ保育園の0才児クラス設置について、現場視察したところ、0才

児室の増設と調理室の改修が必要とわかりました。来年度からの実施に向けての段取りを伺います。

また、看護師、理・美容師、百貨店勤めなどの保護者から土曜の一日保育の要望を聞きます。土曜の午後の保育をやりくりしていた保護者の立場を思うと、土曜の一日保育の実施をと思い、教育長の考えを伺います。

教育長 いなべ保育園の0才児室などの増設については、今年度中に設計を行い、平成24年度当初から増築の計画です。来年度から土曜の一日保育を実施の方向です。

太陽光発電に助成を

東日本大震災に伴う原発事故で「放射能汚染」におびえるという、大変な事態になっています。

今の原発技術は、重大事故が発生し放射性物質が外部に放出されると、被害は空間的、社会的のみならず、子孫の遺伝子までも傷付け、時間的にも広がる「異質の危険」

があります。世界有数の地震国・日本で、原発は社会的に許容されないと

思います。原発に代わる自然エネルギーを求めている今だからこそ、一般家庭の太陽光発電への助成制度をお願いします。

生活福祉部長 国の補助金制度があり、今後、県、国の動向を見極め、判断します。



みんなで楽しく！仲良く！

一般質問



中村充男 公共施設の管理責任は 町長にあります

笹尾西小学校のプール建設による校舎の排水の不具合がありました。また、笹尾第2保育園、笹尾東幼稚園の新設後、園児の下駄箱が、雨天の場合濡れてしまうので、廊下にシートを敷いて置

いているとのこと。6月議会でテラスを取り付けることで予算化しましたが、8月末現在、いまだに取付工事はされて

いません。また、学童保育所（バンブーキッズ）の木製の縁側は雨ざらしのため、視察の時に当局には指摘をしましたが、これら公共施設は、いったい誰が意志決定し、誰がどの様に発注し、その責任は誰が負うのか。検討もせず、不具合が起きれば次から次へと追加発注をしてい

る事について伺います。副町長 契約発注に係る最終責任は、町長にあります。私に委任されています。入札事務のみで、入札後の契約に関しては、事務決裁規定および財務規則に基づき執行しています。

町長の情報は、行政機関からの発信なのか、個人的意見ですか。これは議会軽視ではないのですか。

町長 私が独り歩きすることなく、町民の皆さんのための行政運営を心がけていきます。



靴が雨でぬれないように



近藤義憲

RDF発電事業の方向性は 委員会を立ち上げます

RDF発電事業廃止後（平成33年度）と町内事業者のごみ処理対策の方向性とエコタウン構想について伺います。

町長 本年6月より桑

名広域清掃事業組合においてごみ処理のあり方検討委員会「立ち上げ検討」に入りました。

RDF発電事業廃止するまでに、県内外の事例を参考にしながら、建設地・費用・コストなど調査および比較検討し、方向性を早急に決定できるように進めています。

事業者のごみは法律により町は処理しませんが減量化、再資源化をお願いして行きます。

エコタウン構想については平成18年度に基本計画を策定し、さまざまな取り組みを行っています。

生ごみは減量し処理費用を減らすために「生ごみ堆肥化推進協議会」を立ち上げ方針を決めます。

haに温浴健康・農産物店・宿泊・レストランの4施設3つのパターンでコンサルタントおよび職員で分析検討しましたが、いずれも町の財政支出が年間3千400万円から1億1600万円必要とする調査結果で、実施は難しいと位置付けられました。

公共温浴施設は

温泉開発と関連施設の調査結果を伺います。

総務部長 温浴ブームはピークを越え、施設も減少が続いています。中部公園に接続する1.5

haに温浴健康・農産物店・宿泊・レストランの4施設3つのパターンでコンサルタントおよび職員で分析検討しましたが、いずれも町の財政支出が年間3千400万円から1億1600万円必要とする調査結果で、実施は難しいと位置付けられました。



RDF固形燃料

一般質問



大崎潤子

ごみ減量への情報提供を 広く情報を発信します

徳島県の上勝町は2020年をめぐりに、ごみゼロを目指すという画期的な「ごみゼロ宣言」を全国で初めて行いました。

「ごみゼロ宣言」を出すまでの道のりは簡単ではなかったようです。さまざまな困難を乗り越えて町民とともに現在35分間を実施しています。

ごみステーションは整理整頓され、ごみ特有の臭いもなく、分別されたごみの行き先は、町民にわかるように表示されていました。

東員町も「ごみゼロプラン」を策定しており、その実現には、町民の協力が絶対に必要です。町民がごみに関心を持つように、例えば、生ご

みの水分処理費用が6242万円（平成20年度）かかっていることなどの情報を発信して、ごみ減量への協力を求めることが大切と考えます。

ごみ処理費用が軽減された分、暮らしや福祉に予算を充当すれば、町民にとってうれしいことです。ごみゼロ委員会を早

く立ち上げて取り組みを進めてください。

町長 情報発信が手だと思えざるを得ない。町民と行政が一体となって取り組むために広く情報を発信します。委員会も立ち上げます。

生活福祉部長 ごみに関する情報を広報などで定期的に発信します。



生ごみの発酵中



伊藤守一

木造住宅耐震化率の向上を 有効な減災対策をPRする

平成15年から平成22年度までに、木造住宅耐震補強工事を利用された方が9人と低調ですが、補助金額を増額して耐震化を向上できませんか。

町長 当初は、補助を受けるのに所得要件などがあったり、工事に係る設計部分の補助が充実していませんでしたが、現在は所得要件なども外れ、設計補助の独立、簡易補強工事の追加で利用し易くなっています。

自己負担の問題もありますし、個人の生活設計に係ることもありませんが、今後も国・県と合わせ事業を推進し、生命と財産を守る有効な減災対策をPRして耐震化の向上を計ります。

また、本年度から安価な耐震シエルト設置補

助事業も実施して、併せて推進して行きます。

団地で盛土部分の調査は

笹尾・城山では、造成時に盛土された部分と思われませんが、コンクリートなどがひび割れているので、危険性の有無について調査をされるのか伺います。

町長 原因は定かではありませんが、コンクリートなどのひび割れがあると聞いています。地区内の公共施設の状況と、施設に欠陥がある場合は原因を調査したいと考えています。その結果を受け、さらに調査が必要でしたら、県の指導もいただきながら検討します。



耐震補強

一般質問



川瀬孝代

災害時の事業継続計画は 策定に向けて研究します

①災害発生時の非常時に効率的な業務を行い、最短で復旧を図るためのBCP（事業継続計画）の策定について伺います。

町長 ①緊急時に災害情報を特定のエリアに配信するエリアメールの導入について伺います。

町長 ①初動態勢と日常業務の復旧を同時に行い、計画を立て優先順位を決めることは重要な事であることから策定に向け研究していきます。

②災害情報伝達手段を確保することは、減災につながることから導入に向け準備を進めていきます。

福祉施策は

①高齢者の難聴と認知症の早期発見・予防に役立つ聴力チェッカーの導

入について伺います
②通所サービス利用促進事業の実施状況と今後の対応について伺います。

町長 ①現在の取り組みの継続と強化を図るとともに、早期発見の手段として検討します。

②国からの臨時交付金を活用した3力年の事業です。実施状況として、月平均49人、年間で延べ7445回の利用があり

ました。福祉施設の団体などから存続要望がありますので、国の方で今後の対応について検討が行われています。本町として事業継続の要請をしていきます。

※BCPとは、大規模な災害などの緊急事態が起きて、最低限度の事業の継続、早期復旧を可能とするために、平常時の活動や緊急時における事業継続のための方法手段を取り決めておく計画のことです。



聴力チェッカー



山口一成

原発被ばくから子を守るには 原発からの脱却を考えています

ボランティアとして参加された方の体験談を聞いた神田小5・6年生が、被災者の方々にあてた応援の手紙と歌声を録音したテープを届け、地元「りんごラジオ」で流され、その思いが届き、多くの方から温かいお礼の手紙をいただき、逆に励まされたのです。この交流こそ生きた教材です。

原発の事故は計り知れない被害で、極めて深刻です。東日本大震災で被害を受けた子どもは、甲狀腺被ばく、転校避難、死亡・行方不明者711人、孤児117人、被災校207校と、学校再建、除染の徹底など、苦しい生活を強いられています。が、どうお考えですか。

また、北陸の原発地域から80km圏内の本町も原

発事故を想定外にしてはなりません。

町長 原発が平和利用とはいえ、核分裂によるエネルギー利用で、太陽の摂理に反した行為です。

大きな観点から見れば、今回のこともその一つです。一刻も早く核分裂による原子力利用には終止

符を打つべきであり、徐々に原発から脱却し、再生エネルギー利用を目指すべきと考えています。

教育長 子どもには責任はありません。「100%の安全はない」という意識で対応しなければなりません。



北陸地方の原子力発電所



門脇助雄

陸上競技場を県と共有財産に 協議をします

三重県は、2021年度国体誘致を進めるなどスポーツ振興を掲げています。

そして、県体育協会も活性化に向けて動き出しました。陸上競技場は、平成4年の開場以来、20年を迎え、平成24年には5回目の日本陸上競技連盟第二種公認の更新を迎えます。陸上競技場使用料収入は、年間約200万円、維持管理費1500万円、更新費用は書類審査だけでも70万円です。さらにルール改正での設備改修などが伴うと2000万円以上と多額の費用が必要です。

北勢地方には県営の施設はありません。この立派な施設を三重県との共

有財産として、維持・管理・運営を考えていただきます。

平成23年度で5回目を迎える「美し国三重市町対抗駅伝」が、いわゆる三重県版の事業仕分対象になり、試練を迎えます。東員町チームは幸いにも監督・コーチに恵まれ、上位入賞しています。

ぜひとも継続・発展するように努力してください。

町長 陸上競技場を三重県との共有財産とすることは、理論的に納得できるものと考えられます。

「美し国三重市町対抗駅伝」の継続も合わせて、高度な政治判断が必要であり、県に対してお話をさせていただきます。



今後の経費は

一般質問



南部武司

医療団地を形成する場所は 農地法の規制があります

町長の公約にある医療団地や中心市街地を形成できる場所は、農地法

ありません。しかし、農地法の規制がある限り、難しいですが手法はあります。また、この場所と考えています。

人口増加を考えた土地利用と、農地保護からの土地利用について、町長の考える土地有効利用の施策は何ですか。

農地法を根本的に変えない限り、農業に明るい未来はないと考えます。権限移譲と言いつつながら既得権が邪魔をする現状をどう考えますか。

町長 候補地は、市街化区域での確保は困難で、市街化調整区域の東員駅から役場までを構想しています。関連諸法のハードルは決して低くありま

せんが、さまざまな制約が解除できるよう戦略的に取り組みます。

人口増加と農地保護が両立できるような土地有効利用施策として、現在の市街化区域にある空き地の宅地化を図り、優良農地は、保全すべきであると考えますが、地権者や農業関係者と十分な協

議を図ることも必要であると考えます。

権限移譲については、その通りだと思えます。末端である市町村が住民の方とその地域の幸せを考えた時、意見を吸い取って国や県に提言していく必要があると思っています。



農地法の規制は

一般質問



水谷喜和

運営協議会への委託の真意は 前町長から依頼を受けています

育苗研修交流施設の設置目的、実績、施設運営の総括と今後の施設の利用計画について伺います。

また、施設運営をふらわあーびれっじ運営協議会に委ねたと聞きますが、設置条例に定める管理能力を有する公共的団体ですか。また、委託契約は行われていますか。

町長 「農業とふれあう地域づくり」をテーマに、管理、花木、展示、水耕棟の4棟からなり、花木の栽培、温室植物の展示、水耕に適した作物の選定、研究研修を目的に平成4年に開設しました。開設後数年は、技術者を雇用し、施設を活用していましたが、年々減少し、ここ数年は一部利用を除き、遊休化していました。

現在の利用状況は、町主催による月2回の園芸教室、花木棟は、東員花卉クラブによる花苗栽培

展示棟は、ふらわあーびれっじ運営協議会による月2回の朝市を実施しています。

今後は、農業を通じた健康づくり、生きがい対策、人の集う場、地産地

消などに活用すべく検討していきます。

ふらわあーびれっじ運営協議会の構成は、観光協会、社会福祉協議会などの参画であり、公共的団体です。運営委託は、前町長から依頼を受けています。



朝市が行われています

委員会活動レポート

京都府南山城村
研修日 8月2日

議会広報
常任委員会

分かりやすい議会だよりに

南山城村は、京都府の東南端しに位置する人口3千人強、面積64平方キロメートルの唯一の村です。

南山城議会だよりは、これまでに全国のコンクールで入選・奨励賞・最優秀賞を受賞した優秀な議会広報編集委員会であります。

当町議会だよりをもっとよいものにするために、経験豊かな南山城村に研修を行いました。

南山城村と当町の編集要領などについては、そんなに大きな相違はありませんが、発行日が翌月になっていることや、写真に重点をおいており、特に表紙の写真については100枚以上の写真を撮って、その中から厳選しているそうです。

また、表紙の見出しと中身の一体感を保つことが重要であることも認識

しました。

質問の主な内容に対する回答を次に述べます。
① 討論はそのままを載せる。

② 表紙や見出しが住民の感情を注ぐものが重要である。

③ 各種団体等の紹介を載せている。

④ 写真と見出しの関連性がある物にすること。

⑤ 委員は議長指名で任期は2年。

以上が主な質疑回答でしたが、委員の指名が議長に権限があることには驚かされました。



【委員会研修総括】
今回の研修による改善などの内容をまとめました。

- ・ 文字の書体を変えられないか。
- ・ 一般質問を1人1ページにできないか。
- ・ 表紙の見出しと中味が関連性のあるものに。「です」「ます」にこだわる必要はないのではないか。
- ・ 委員の選考方法を変える必要がある。
- ・ 写真を全カラーにできないか。
- ・ 委員の任期を考える必要がある。
- ・ 地域の各種団体などの紹介(個人も含む)をすれば読者率も上がるのではないか。
- ・ システムの改善も必要ではないか。

委員会活動レポート

徳島県上勝町・徳島市
研修日 8月8・9日

教育民生
常任委員会

無駄、浪費、ごみをなくす

ごみの発生抑制・分別回収システムについて徳島県上勝町と、小学校の「校庭の芝生化」を実施している徳島市へ視察研修しました。

上勝町は、平成15年9月に日本で初の目標期限を決めた「ゼロ・ウェイスト宣言」を行いました。品物の製造・販売時点からごみの削減に取り組み、焼却・埋め立てによるごみの処理をできる限りゼロに近づける努力をしています。

生ごみ以外のごみを、町内に設置されている「日比ヶ谷」リステーション」に住民が持ち込み、34種類の分別収集をするシステムを作りました。ごみを資源ととらえ再利用可能なものは必要なものも「KINOKUNISHOP」やリメイク雑貨を作成・販売する「くるくる工房」また、再資源化可能なものは業者へ流通し効率的に取り組んでいます。生ごみは、電動生ごみ処理機で処理され、有機肥料として循環されています。

NPO・住民・事業者・行政がそれぞれの役割を

果たし活動しています。ゼロ・ウェイスト運動では、製造者に責任を求めてごみの発生を根本から変えていく環境について考え、ごみを出さない生産と消費のシステムを作っていくことが重要と考えていました。

ごみに対する理念・認識を持たなければならぬなど、研修を通して課題も出てきました。先進地の取り組み「ゼロ・ウェイスト」は重要であると思われました。

※ゼロ・ウェイストとは、「無駄・浪費、ゴミをなくす」という意味です。

徳島市では、校庭の芝生化において「学校は、児童の学習・生活の場であり、施設環境は心身の豊かな成長に大きな影響を与える」ことから、平成20年から平成22年までの3力年で、モデル事業として5校の小学校で実施されました。芝生整備

をした千松小学校の校庭を現地視察しました。

学校・地域住民・PTA・教職員などで協議を行い維持管理にあたっていました。

学校だけでは十分な維持管理ができないため、地域の中で専門的知識のある方にアドバイスを受ける必要が難しいということでした。今後は、芝生への負荷が少ない園庭にする取り組みを研究していくことも考えていると言われました。

芝生化は、ヒートアイランド現象の緩和・砂塵の飛散防止・情操教育などのメリットもあります。この研修を通して推進していくには、維持管理や地域との協働において研究が必要と思われました。



ごみの分別



校庭芝生化

委員会活動レポート

四日市市水道施設
現地視察日 8月23日

総務建設
常任委員会

取水量調査



議会は初めて、四日市市上下水道施設（取水場）の内部に入り、四日市市上下水道局技術部長から機器などの説明を受けました。

その中で、四日市市の上下水道全体を見ると東員町からの取水は全体の約20%を賄い、さらに三重用水、木曾三川、そして市内の水源地からも取水していますが、四日市市民は東員町の水が一番美味しいという評価をもらっているとの説明がありました。

各取水場のメーターのデータ

神田取水場超音波流量計



場所	1時間当たりの最大取水量	1日当たりの最大取水量	井戸の深さ
神田取水場	713 ^{m³}	10,553 ^{m³}	8m
長深取水場	230 ^{m³}	4,821 ^{m³}	20m
中上取水場	240 ^{m³}	5,749 ^{m³}	20m

【考察】
三滝の集中管理センターで集計などの作業を行っていることから、現時点では参考資料の数値を確認する方法のみで終わっていますが、集中管理センターでの調査が必要であります。

東員町水源保護条例で地下水の取水量制限などの見直しを行う必要があります。大切な地下資源を守る町条例の制定に向けての勉強会、そして、地元協力金についても調査が必要であると考えます。



9月7日・8日にシニアカレッジの皆さんが、9月定例会一般質問を傍聴されました。たくさんの感想を寄せていただきました。（※紙面上の都合により一部を掲載します）

●細かく質問されていた。良く調査している。町長と議会コミュニケーションを！

●今まであまり議会を知ろうとしていなかったけれど、意見・答弁を聞いてよくわかりました。機会があったら傍聴したいと思いました。

●この世に産まれて始めての経験でこのように議会がなされているのかと感心しました。議員さんが住み良い東員町を作っていく様子がよくわかりました。私も東員町へ越して来て10年位ですが、何もわからなかったけど少しは町内の事がわかりました。私たちも協力して行かねばと思います。

●コミュニティバスの事は良い方へ運行されるよう願っています。今は車に乗れますが何年か後には絶対に必要になりますので。

●議会場について、いかにも重々しくて暗さを感じる。今の時代にこの重厚しさだけで発展的な意見発想ができるだろうかと疑問を感じた。もっと開放的な議会場を望みたい。

●ごみ処理機の配置について、東員町内においては各家庭の土地に余裕がある家庭が多いと思われる

●初めての経験、室内の暗さ、ごみ問題、身にせまる思いです。

●生ごみ処理機の全戸配布はできることであれば頑張っしてほしいと思います。

●答弁席には議員が質問している時、この質問は私には関係ないといった

いかがかと思う……議会の内容は記録により内容がわかるはずである。

傍聴者の声

●質問事項が決まっているのに答弁のない者は、答弁席にいない必要がないと思う。席に座っているよりは、役場の席にもどり（自分の所定の席）自分の本来の仕事をしては

るので、もし、配布を考えていただけるのであれば電気を使用する処理機ではなくてバイオによる処理方法を教えても良いと思う。この問題に関しては私たち一人一人の大きな問題であるので、もっと大々的に効果的に周知を徹底していただきたい。私たちを自覚めさせてほしいと感じました。

●よいな表情がうかがえる。全員回答者であると思い、真に質問に耳を傾けなければならぬ。



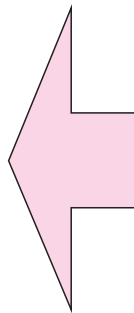
追跡

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

あの質問は どうなったんや？

こうなりました

平成23年11月頃に開通予定です。



念仏小橋の完成は

Q 念仏小橋の工事期間と完成はいつ頃になりますか。
(平成21年3月)

A 念仏小橋を含む3つの橋の新設や改良工事で、完成するまでには長期間を要します。
橋の1つ念仏小橋は平成23年11月には通行可能予定です。



台風12号による被災地への見舞金

台風12号において被災されました紀宝町へ、東員町議会として災害見舞金20万円を届けました。



議会クイズ

問題の答えはすべて議会だよりの中にあります。よく読んでお答えください。

問1 平成22年度実質収支額は。(正確に)
 問2 平成23年度一般会計予算額は。
 問3 平成23年9定例会で一般質問した議員は何人でしょう。

▼応募方法
 官製はがきに答え・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、東員町議会事務局へのご意見、感想などありましたら、一緒に記入してお送りください。

「読者の声」で、できるだけ紹介いたします。
 ▼正解者の中から抽選で15人の方に図書カードをプレゼントします。

▼あて先
 〒517-1101 東員町山田一六〇〇番地

※ご記入いただきました個人情報については、賞品発送及び読者の声などの目的以外には一切使用いたしません。ただし、行政側に対するご意見・質問などの場合は、その内容に応じ、担当課から報告または回答をさせていただく場合もあります。



いが栗くん

東員町議会からのお知らせ

12月議会を
傍聴してみませんか

次回の定例会は
平成23年12月1日
開会予定です。
傍聴、お待ちしております。

皆さんの声を
聴かせてください

読みやすく分かりやすい議会だよりの作成に心掛けてますが、皆さん読まれてどう思われますか、感じますか？
 皆さんの意見、感想をお聞かせください。

表紙の写真

東員第二中学校の体育祭、みんなで力を合わせてがんばっています。

定例会会期日程・時間・傍聴などに関するお問い合わせは、議会事務局まで
 員弁郡東員町大字山田1600番地 電話86-2813

議会広報常任委員会

委員長／藤田 興一
 副委員長／鷺田 昭男
 委員／川瀬 孝代・近藤 義憲
 伊藤 守一・門脇 助雄

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。
 また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。